

2025年11月
塩尻市立図書館
編集

目指せ!図書館マスター-

図書館マスター-だより



第10期図書館マスター認定!

目指せ!図書館マスターとは...

本や司書、図書館全体について学び、
司書の仕事を体験してもらう講座です。
2016年から始まり、今年で10回目の
開催でした。



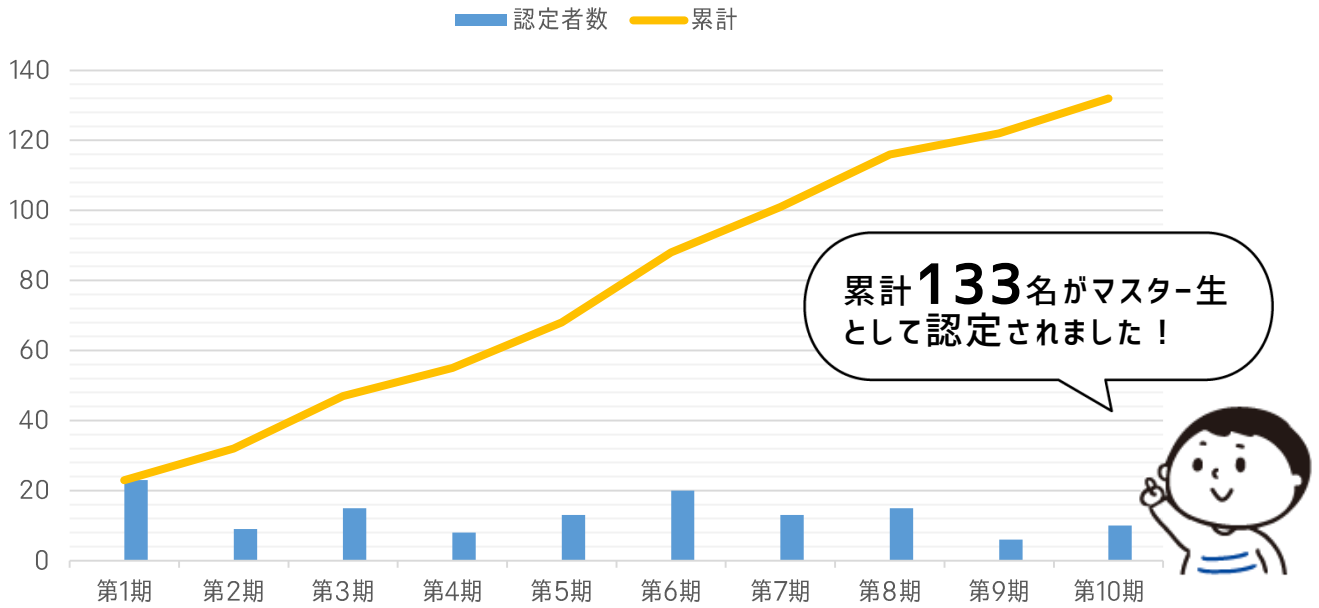
目次

目指せ！図書館マスター10年間のあゆみ	P1
第10期の日程・開講式	P2
第1回 絵本を楽しもう	P3
第2回 図書館の本はどんなふうになっている？	P4
第3回 一冊の本が図書館の本になるまで①	P5
第4回 一冊の本が図書館の本になるまで②	P6-P8
第5回 カウンターの仕事	P9-P12
第6回 レファレンスサービスってなんだろう？	P13
第7回 図書館マスターだよりを作ろう！	P14
第8回 読書の楽しさを伝えよう①	P15
第9回 読書の楽しさを伝えよう②/修了式	P16-P18
図書館マスター生の感想	P19-P20
館長からのメッセージ	P21

目指せ!図書館マスター 10年間のあゆみ



図書館マスター認定者数



今までの様子



2016年
第1期の開講式



2021年
おはなし会



2020年
感染症対策



2023年
POP作成

2025年度 第10期の日程



回	日付	午前 / 午後	内容
第1回	7/13(日)	午前	開講式 絵本を楽しもう
第2回	7/27(日)	午前	図書館の本はどんなふうになっている？
第3回	8/31(日)	午前	一冊の本が図書館の本になるまで①
第4回	〃	午後	一冊の本が図書館の本になるまで②
第5回	9/28(日)	午前	カウンターの仕事
第6回	〃	午後	レファレンスサービスってなんだろう？
第7回	10/5(日)	午前	図書館マスターだよりを作ろう！
第8回	10/19(日)	午前	読書の楽しさを伝えよう①
第9回	10/26(日)	午前	読書の楽しさを伝えよう② 修了式

☆ 午前・午後の2回連続講座では、お弁当持参でがんばりました！ ☆

開講式

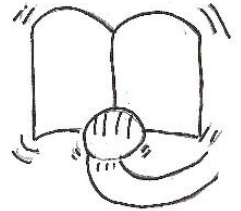
- ・開講式
- ・図書館で働く司書の仕事について



第1回 絵本を楽しもう

・読み聞かせの基本を学ぼう。

絵本の読み聞かせ は 楽しい!!



私が絵本の読み聞かせで一番むずかしかったのは、本を片手で持つことです。それは簡単そうですが、最初は重くてうまく持てませんでした。ほかにも季節に合った絵本を選んだり、読み方も工夫があるのでむずかしいです。でも聞いてくれる人たちは楽しそうな顔で聞いていて、楽しく聞いてくれてよかったなとか、この場面はきんちょうするよね、といった感じでいっしょに読んでいるようでとても楽しいです。読み聞かせには準備や練習などいろいろ大変だけど、その分楽しさやうれしさなどがあるので、また機会があったらやりたいです。

内田 有美



第2回 図書館の本はどんなふうになっているの？

- ・図書館に本を並べるための分類法「日本十進分類法」を知ろう。
- ・本の並び方を理解しよう・実際に本棚へ行って確認しよう。

フ〇〇でもおずかしい 分類!!

760
了

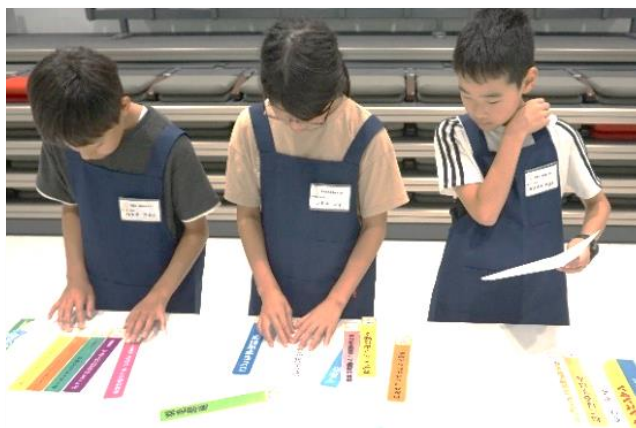
図書館にある本は、全て日本十進分類法というルールで分けられています。

このルールは図書館の本の身近な所にあります。それは本の背の部分の下にあるラベルです。ラベルは色がついているわくと、3ケタの数字と1文字のカタカナがあります。

3ケタの数字は分類になっていて、音楽についての本は760です。また、探したい本がある時はその本のジャンルを調べて、これかなあという本だなに行くと探していた本があるかもしれません。

このように日本十進分類法（NDC）というルールで本の場所を決めているので、NDCをたよりにすると探したい本が見つかることを知って、何か不思議で面白い感じがしました。

川口 洵



第3回 1冊の本が図書館の本になるまで①

・見計らいと選書会議をして、どの本を買うかみんなで決めよう。

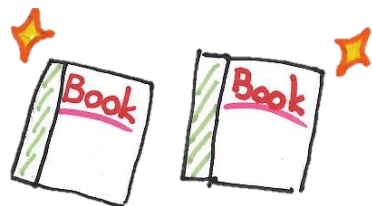
どんな本が必要かな？

見計らい & 選書会議



私が1番心に残った回は、見計らいと選書会議です。見計らいとは、1万円での本を買った方がいいかをたくさんの本から6冊ぐらい選んで決めます。自分で見計らいた後は、選書会議でみんなの意見を聞いて、もう一度みんなで買いたい本を決めます。選書会議で私が「いない」と思った本も、他の人の意見を聞いて「あ、この本いるかも」と見直すことができました。選書会議で「この本は、えんぱーくにたくさんにたような本があるからいれなくていいかな」と考えることが、大切だと思いました。選書会議をする時に、みんなが納得するように説明することはむずかしかったけど、みんなで選んだ本が棚に並べられることを聞いて、とてもうれしかったです。

藤原 杏



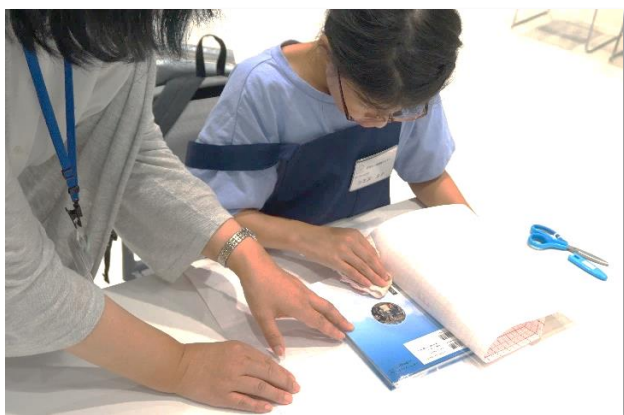
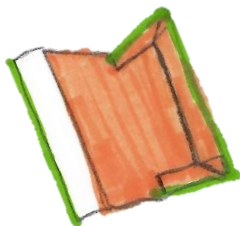
第4回 1冊の本が図書館の本になるまで②

- ・買うことになった本の「装備」をしよう。
- ・本の登録と検収をして棚に並べよう。

むずかしい ブッカーかけ

私が一番むずかしかったのは、ブッカーかけです。ブッカーかけをするとき気をつけたのは、空気が入らないようにすることです。空気が入らないでできたときは、すごくうれしかったです。ブッカーとブッカーがくっついてしまうこともありました。しかし、私がブッカーをかけた本を利用者さんが借りているところを想像したら、うれしくてすぐブッカーかけが終わりました。ブッカーかけはたいへんだけど、楽しくできてよかったです。

清水 結郁



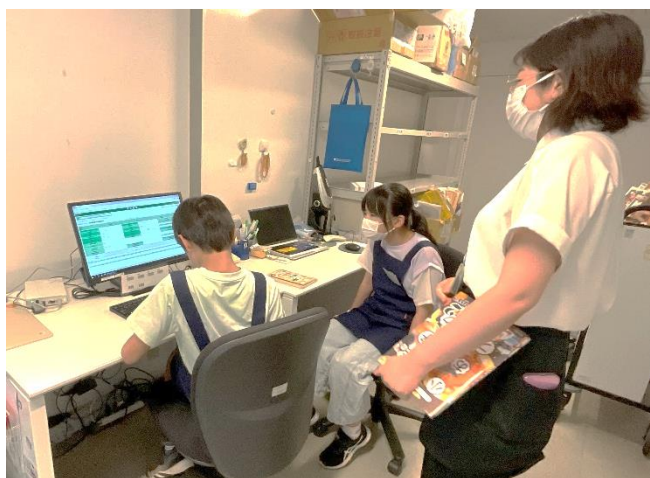
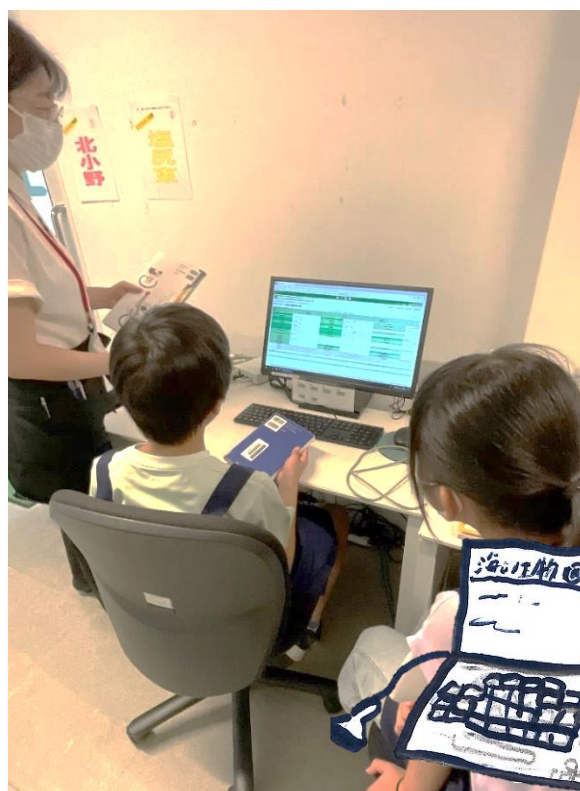
借りるための作業 本の登録



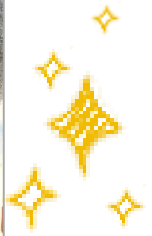
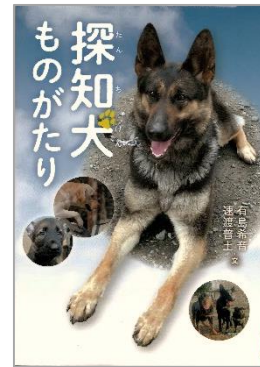
ぼくが一番心に残ったのは、本の登録と装備です。本の装備は最初にラベル、ICタグを本につけて、ブッカーをはります。そのラベルとICタグには、本のデータを読み込んであるので、本を借りるときに、ラベルとICタグで読み込んでいるんだなと思いました。

次に登録は、本のデータを図書館のシステムに登録します。図書館のシステムに登録しないと、ラベルとICタグがはってあっても、貸し出しできません。登録したデータがまちがっていないか検収もしないといけません。このような作業があり、ぼくは新しい本を登録するのは大変だなと思いました。この作業をたくさんしている司書の人はずごいなと思いました。

内田 渉



自分たちが選書会議で選んだ本を購入し、
自分たちの手で装備しました！装備した本は
登録してから、図書館の棚に並びました。



第5回 カウンターの仕事

・カウンターの仕事をやってみよう。

意外と簡単!

「カウンター」



私が一番心に残っていることは、カウンターの仕事です。

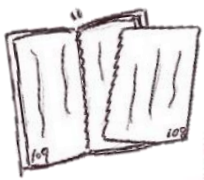
少しむずかしかったのはあいさつ。図書館に入ってきた人に「こんにちは!」、出ていく人に「ありがとうございます!」と言うのですが、壁があって見えなかったり、カウンターが混んでしまってあいさつができなかったりしたからです。でも、あいさつって大事だなと思いました。

初めて知ったのは「図書館は秘密を守る。」秘密というのは誰が何を借りたか、などの個人情報です。確かにそれがもれたら大変なことになりそうだなと思いました。

次に図書館に来たら、あいさつを返したり「秘密」について考えてみたりしようと思います。

塩原 芽依





大変だけど、やりがいがある！

カウンターと修理



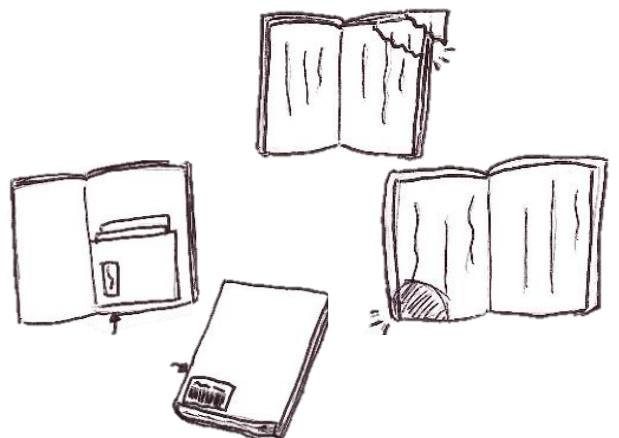
私が一番楽しかったことは、カウンターと修理です。

まず、カウンターは貸出や返却をするときに、バーコードや資料の確認をするのが大変でした。また、返却された本が汚れていたり、破れていたりしないか確認するのも大変でした。

次に、修理はとれているページがあると、専用ののり等を使って修理することが分かりました。また、とれたページをぴったり合わせて、本にはるのが難しかったです。

これらのことをやって、上手にできるか不安だったけど、カウンターも修理もしっかりできたのでよかったです。

安田 悠衣



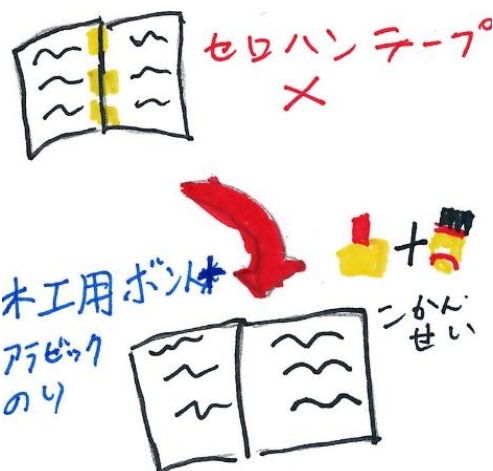
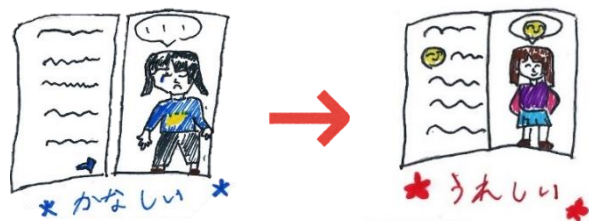
本の修理は「大変！」

私が一番むずかしかったのは、本の修理です。修理では、せん用のりとテープを使って、外れたページを付けました。家で本を直すなら、木工用ボンドとアラビックのりを混ぜて代用できます。せん用のテープの代わりに、メンディングテープを使うといいそうです。

本の役割は、中に書かれている情報を読んでもらうことです。破れたり、傷んだりして読めなくなると、その役割が果たせなくなると初めて知りました。修理する前に、まず利用者一人一人ちょっとした気配りと工夫をすることで、長く使えると分かりました。

本を守るには、破ったり、落書きしたり、飲み物の近くに置いたりしないで、長く使おうとすることが大切だと思いました。

岡田 瑞生



本の修理は大切!

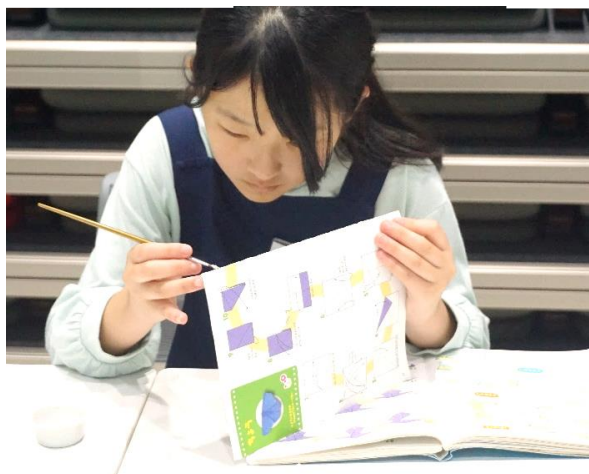
私が一番心に残ったことは、破れてしまったりページがとれてしまった本の修理についてです。

本が破れてしまった時、専用のテープやのりで修理をします。ページのくっついていない所に適量ののりをのせてくっつけたりして、なるべくこわれる前の状態にもどします。

絶対にやってはいけないことは、セロハンテープを使うことです。このテープは時間がたつと変色してしまうので本を傷めてしまいます。自分からていねいに本をあつかうことを心がけましょう。

本を修理することは大切ですが、修理する本が出ないよう図書館の本をあつかうことも大切です。雨の日に持って帰るときはビニールに入れるなど、自分自身で工夫していきましょう。

吉野 真白



第6回 レファレンスサービスってなんだろう？

・レファレンスサービスについて学んで、やってみよう。

レファレンスって 何だろう？



私は、図鑑から関係あるものを探すのが一番大変でした。図鑑や事典には索引があります。索引で調べると、すぐに見つけることができます。また、ページが分かったら「見出し語」と呼ばれるところを見ました。

次は実践をしました。ポプラディアがとても役に立ちました。データベースで信濃毎日新聞の記事をキーワードで検索しました。信濃毎日新聞の他にもたくさんの新聞記事のデータがありました。

レファレンス記録を司書さんたちはつけているみたいです。別の人から同じ質問をされた時に、どの本を見れば良いかすぐに分ったり、どのような分野の質問なのかが分かるからです。司書さんに分からないことがあったら、聞いてみたいです。

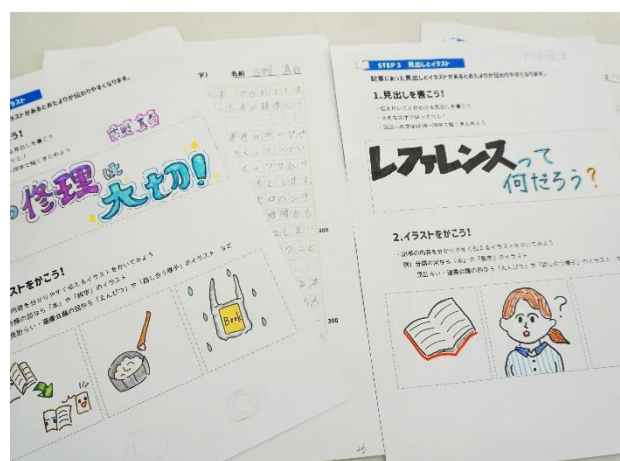
門田 藍里



第7回 図書館マスターだよりを作ろう!

- ・「広報」の大切さを知ろう。
- ・これまで学んできたことをふりかえって、記事を書こう。

図書館マスターで心に残ったこと、楽しかったこと、
むずかしかったことなどを記事にしました!



第8回 読書の楽しさを伝えよう①

- ・ビブリオトークについて学ぼう。
- ・どんな風に伝えれば好きな本の魅力が伝わるのか考えてまとめよう。

📖 ビブリオトークとは…

ビブリオはラテン語で『本』、トークは英語で『話す』という意味があり、決められた時間のなかでおすすめの本の紹介をする技法です。今回は3分間話すことを目標に、内容を考えて練習しました！



第9回 読書の楽しさを伝えよう② / 修了式

ビブリオトーク発表 / 図書館マスター認定書交付

ビブリオトーク
の極意

- 一、 ゆっくりと話すべし
- 二、 はきはきと話すべし
- 三、 正面を向いて話すべし
- 四、 視線は上に向けるべし
- 五、 楽しむべし!

POINT!



ビブリオトーク発表



『ぼくのプールサイド』
今井 恭子 / 著 学研教育出版



『戦国武将 人物事典』
川口 素生 / 監修 成美堂出版



『あした話したくなる
すごすぎる47都道府県』
山口 正 / 監修 朝日新聞出版



『鬼遊び① 鬼よぶわらべ歌』
廣嶋 玲子 / 著 小峰書店



『歴史ゴーストバスターズ』
あさば みゆき／著 ポプラ社



『若おかみは小学生!』
令文 ヒロ子／著 講談社



『ダレン・シャン 奇怪なサーカス』
Darren Shan／著 小学館



『名探偵コナン 隻眼の残像』
青山 剛昌／原作 水稀 しま／著
小学館



『歴史ゴーストバスターズ』
あさば みゆき／著 ポプラ社



『5分後に意外な結末ex
エメラルドに輝く風景』
桃戸 ハル／編著 学研プラス

『おすすめの本をみんなに読んでもらいたい!』という気持ちを大切にしました。

修了式

認定おめでとうございます！



館長から認定書を
手渡されました。



認定書

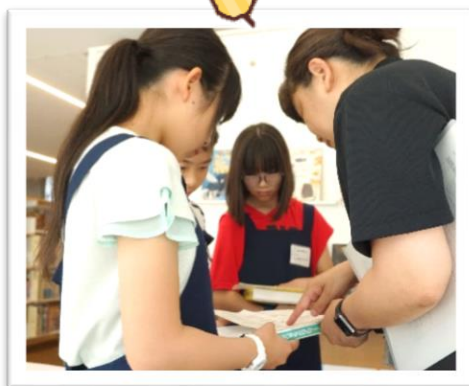
第10期 国学院マスター
〇〇〇〇様

あなたは信州しんり子ども本の
おきま展「目指せ！国学院マスター」の
会場で修了されましたので、
ここに感謝状を贈ります。おめでとう
と認定いたします。

令和5年12月26日
国学院大学学長
大澤 昭夫

図書館マスター生の感想

カウンターの仕事とか、本の
装備とかいろんな図書館の
仕事について学べて、とても
楽しかったです。来年は他の
友だちにおすすめしたいです。



最初から最後までずっ
ときんちょうしていたけ
ど、ちゃんとはっきりし
た言葉で楽しく発表で
きてよかったです。

最初は「司書の仕事って貸し出し
だけ」って思っていたけど、このマス
ターを通して忙しいんだなって思った。
一番心に残ったのは、本の修理・
貸し出した。カードは相手向きに渡
すなど、いろいろルールがあつてむずか
しかった。

- ・とちゅうから読む原こうを忘
れてしまい、とぼして読んだら
残りが1分と長くなってしまった。
- ・好きなフレーズと好きな登場
人物の所をド忘れしてしまった。



図書館のことがさらによく分かったり、司
書の仕事が多分かったりして、司書は大変
だなと改めて思い、図書館マスターを申し
込んで良かったと思った。レファレンスをし
たりすることもあると知ったりもしました。ピ
ブリートークでいい感じにできて、集大成だ
なと改めて感じた。選書をするのが大変
だった。

図書館マスター生の感想

これまでの図書館マスターで大変だったことは、本の修理だった。私はせん用のりでわれたページをはり付けることがむずかしかった。家でページがわれたら、木工用ボンドとアラビックのりを混ぜれば、せん用のりのかわりになるから、家でこの方法を使いたくなった。図書館マスターは全9回だったけど、色んなことを学べてうれしかった。

本を紹介する楽しさを知ることが出来ました。ちょっとずつ図書館のことを知ることができました。

図書館の仕事をたくさん見れて楽しかったです。ブッカーがけをするのがたいへんでした。



ビブリオトークで少しきんちょうしたけど、自分が考えたことをしっかりと言えたから良かったです。なんて言うか忘れてしまう時もあったけど、がんばれました。

図書館の仕事のうら側、内面を知る事ができて良かった。また、本の修理の仕方など、マスターに来ないと知らなかったということをたくさん知ることができ、カウンターの仕事が知れて良かった。



館長からのメッセージ



第10期「目指せ！図書館マスター」を受講した10人の皆さん認定おめでとうございます。全9回の講座で、普段見ることのできない図書館の裏側や利用者さんが快適に図書館を使えるように行っていることなど、司書のさまざまな仕事を体験し、多くのことを学べたと思います。また、学年や学校が違う友達との出会いもあったと思います。

初めての体験で、緊張しながらも真剣に、楽しそうに取り組んでいる姿は大変すばらしかったです。

図書館の楽しさや魅力を周りに広めていくことが図書館マスターの役割です。今後の皆さんの活躍を期待しています。

図書館では職場体験や、しおり部などの活動も行っていますので、そちらにも是非参加してください。

本との出会いは、皆さんのこれからの人生を豊かにしてくれます。たくさんの本を読み、将来への夢を広げていってください。

塩尻市立図書館長 矢澤昭義



編集後記

この図書館マスターだよりは、「目指せ！図書館マスター」第7回目の“図書館マスターだよりを作ろう！”の中で作成されました。図書館マスター生たちが受講した講座の中で、一番印象に残ったこと、楽しかったことなどをもとに、原稿やイラストを書いてくれました。「目指せ！図書館マスター」を通して、どんなことを学んだか、感じたか。思い思いの記事になっていますので「目指せ！図書館マスター」に興味がある子や保護者の方にも読んでいただきたいです。

2025年11月発行 塩尻市立図書館



